

編集後記

19号をお送りします。今回は論考2本の構成となりました。執筆者はいずれも本科研のメンバーです。井黒さんの論考は本誌としては異例の長編ですが、全文を一挙に掲載しました。なお、本号は『西安碑林全集』調査の成果を特集したのですが、この資料に関連した事業として、本科学研究費では、展示会「西安碑林全集を見る」を奈良大学図書館で2012年秋に開催し、薄い冊ながら解説目録を刊行いたしました。すでに関係方面には配布しておりますが、残部がございますので、ご希望の向きはご連絡ください。また、本誌の既刊号を奈良大学図書館リポジトリにアップする作業が進行中で、本誌配布のころにはかなり進んでいる予定です。

いつも申すことですが、現地調査や学会の報告こそ、このような雑誌の本旨と考えておりますので、そちらのほうもご協力のほどお願い申し上げます。

また、本科研の研究代表は村岡さんですが、編集は森田憲司がおこなっております。本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14 世紀東アジア史料通信 第19号

2012年12月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究B

「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 - 石刻史料による中国地域社会史解明の試み」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室